



今号の特集

薬剤師外来のおはなし

2021年
10月



会計待ち時間「待たずにラクへだ」サービスについて

令和2年6月25日から開始

かんたん手続き ・ 外来当日から使える ・ ご利用料無料

診察後、お会計を待たずにお帰りになれるサービスです。

(ご入院の場合は原則 ご入院前のご登録が必要となります)

- サービスのご利用には、『診察券番号』・『クレジットカード情報』等を事前登録いただきます。(登録料・利用料ともに無料です)
- 当日のお会計につきましては、ご登録されたクレジットカードから後日決済されます。
- 領収書については決済後、院内の専用発行機にて発行可能となります。

一部ご利用いただけないクレジットカードがございます。

発行 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院
TEL045-221-8181 (代表) URL <http://www.keiyu-hospital.com/>



「薬剤師外来」って何？

病院で働いている薬剤師が、どんな仕事をしているのかご存じでしょうか。入院をした経験がなく、病院にかかっても外来受診だけという方であれば、病院で働く薬剤師と接する機会はありませんのではないかと思います。

病院で院外処方せんを受取り、街の調剤薬局でお薬をもらっている方は、調剤薬局の薬剤師さんの方が印象が強いかもしれません。

病院薬剤師の仕事を一言で表すなら、「病院内で治療を受ける患者さん（入院＆外来）を対象とした薬物治療全般に責任を持って関わること」と言えると思います。

近年、薬物治療の高度化も進み、外来患者さんより事前に必要な情報を収集また提供を目的とし、薬剤師が面談を行う施設が増えてきました。外来患者さんを対象とした薬剤師の業務ということで、「薬剤師外来」とも呼ばれています。

当院の薬剤師外来について

けいゆう病院薬剤部では、経口（飲み薬）抗がん剤をこれから使用する患者さん、又は使用している患者さんを対象に「薬剤師外来」を開設しています。

医師から予約をとってもらい、「がん領域の認定資格」を持った薬剤師が外来患者さんと面談をしています。

初回は医師診察終了後に薬剤師外来にて薬物治療の内容（飲み方、副作用の対応方法等）を説明します。2回目以降は、医師診察前に面談し、薬剤の使用状況や副作用発現状況を確認・評価を行います。ここで得た情報や処方提案は、この後の診察に繋げるため医師へと共有しています。薬剤師の診察前面談により、診察する医師に時間が生まれ、より患者さんと向き合う時間を確保できるという効果も期待できます。

「けいゆう薬剤師外来」は、これからも患者さんが安心して薬物治療を受けられるよう精進してまいります。

薬剤部長

林 誠一

